

競技者のマナーに関する事項

マナーアップとフェアプレイの両面から、次のような行為を禁止する。

- 1 捕手が投球を受けたときに意図的に“ボール”を“ストライク”に見せようとミットを動かす行為
- 2 捕手が自分で“ストライク”・“ボール”を判定するかのように、球審がコールする前にすぐミットを動かして返球態勢に入る行為。
- 3 球審の“ボール”のコールにあたかも抗議するかのように、しばらくミットをその場に置いておく行為。
- 4 打者がヒジ当てを利用してのヒット・バイ・ピッチ（死球）狙いの行為。
- 5 打者がインコースの投球を避ける動きをしながら当たりにゆく行為。
- 6 プレイ中みだりにベンチを出る行為。
- 7 野手が走者の視界を遮る行為。
 - (1) 走者がタッグアップしているとき、野手が走者の前に立ち視界を遮る行為。
 - (2) 野手が走者の前に立ち、ボールを保持している投手板上の投手への視界を遮る行為。